

一八八四年十一月十日(月)

翌日は月曜日である。聖ラーマクリシユナは、大そう早く寝台を離れて神々の名をとなえておられる。又時々、ガンジス河の方を眺めておられる。一方、大実母カーリーのお堂やラーダーカーンタ堂では早暁の献灯がはじまっている。モニ(校長)はタクルの部屋の床の上で寝ていた。彼も起きて、朝の行事をあますところなく見たり聞いたりした。

洗面その他をすませた後、彼はタクルの傍に来て坐った。

タクルは今日、沐浴をなさった。沐浴を終えてからカーリー堂においでになる。モニも従いて行く。タクルは彼に、部屋の錠を下ろすようにとおっしゃった。

カーリー堂に入るとタクルは礼拝の座につかれ、花をもって時々ご自分の頭の上にのせたり、大実母カーリーの足もとに置いたりなさる。また、チャマラ(扨子)でマーをあおいで差し上げる。そして又、部屋に戻られた。モニに錠をあけるとおっしゃった。部屋に入って小寝台の上にお坐りになった。法悦に恍惚としておられて、神の名をとなえていらっしゃる。モニは床にたつた一人で坐っていた。

やがて、タクルは歌をうたいはじめられた。法悦に酔いながらも、歌によせてモニに教えようとなさるのか——カーリーこそブラフマンであり、無性にして一切性、無形にしてまた無限の形姿を持つものであることを。

(歌)

カーリーの性さがと相すがたを知るは誰ぞ
六派の哲学 はるかに及ばず

一八八二年八月五日に全訳あり

(歌)

これは皆、狂おしき女神の遊戯あそび
その創造現象マ¹ヤ¹に三界は我を忘れる
その妖女はかくれたところで勝手気ままに遊び

一八八四年十月十八日に全訳あり

(歌)

カーリーを知るのは誰か、あなたを知るのは誰か
あなたは無限の姿をもつお方！ マーよ
あなたはたいなる知識、始めもなく自らあ在り
輪廻の鎖につながれた者の救い主！

ギリ山で生まれた娘(パールヴァティ)、牛飼いの娘(ラーダー)
ゴーヴィンダ(クリシュナ)の心を魅了するお方

智慧を与えるお方、願いを叶えるお方、ヒマラヤ王の娘
願望を成就してくださるお方

ゴーヴィンダ(クリシュナ)の胸をかきたてるお方、ラーダー

(歌)

救いの女神よ！
クワイケイリニ

死神ヤマに怖れおののく我を

いざ速かに救け給え

世界の親として、人々を護り

生みの親として、強く強く引きつけ

ヤシヨーダーをその胎はちより産み

ハリ(クリシユナ)の活動リイライを授け給うたす

プリンターヴァンでは愛嬌たす女ラーダーとなつて

ブラジャの野を恋人と遊び歩き

輪踊りライサのおどけた音頭取りになつて

楽しい遊びをくりひろげた

山の娘ギ(パールヴァテイ)、牛飼いの娘、ゴーヴィンダ(クリシユナ)の心を魅了するお方

あなたはガンガー、永遠の解放者

楽士ガンダルヴァの住む天界から来た光り輝く姿のお方

シヴァの永遠の妻 すべてなるイシヤン(シヴァ)の妻

常楽の女神、あらゆる姿そなを具えたお方

一切性にして無性、シヴァの恩寵を受けられたお方
あなたの栄光を理解できるのは誰か

モニは心のなかで思っていた。タクールが次にこの歌をうたつて下さればいいのにな、と。

だまそうとしても、もうだまされないよ、マー
赤むらさきの、あなたの足を見てしまったから

何という不思議な！ こう思うか思わぬうちに、タクールはその歌をおうたいになった。
しばらくして、タクールはお聞きになった——「なァ、わたしは今、どんな境地にいると思う?!」
モニ「はははははは、あなた様はサハジャ（單純素直）の境地でいらつしやいます」
タクールは、歌の文句の一節をくりかえして口ずさんでおられた。

——サハジャ純で素直な心でなけりや、サハジャ純な御方（神）に会えはせぬ